

ぶどう品種「安芸クイーン」

近年、気象の悪影響を軽減できる雨よけハウス栽培が徐々に増加しており、雨よけハウスで栽培可能な高級ぶどう品種が望まれている。果樹試験場カキ・ブドウ支場で育成されたぶどう「安芸クイーン」は、外観、食味とも非常に良好で、日持ち性も良いなど品質の優れた赤色大粒品種である。

表1 「安芸クイーン」の樹齢別果実品質

年次	樹齢	房重(g)	1粒重(g)	糖度(%)	酸度(%)
1997	3	305	14.5	19.0	0.34
1998	4	331	12.7	19.2	0.40
平均		318	13.6	19.1	0.37

「安芸クイーン」の果房の大きさは200～350g、果粒は13g程度と「紅伊豆」より大きい。糖度は18%程度、酸は0.5%程度で、皮離れ、肉質は巨峰に似る。香気はフォクシーで食味は非常に良好である。

発芽期、開花期、収穫期は「紅伊豆」とほぼ同時期で、収穫期は9月中～下旬である。

表2 「安芸クイーン」の生態

品 種	発芽期	開 花 期			成熟期
		始	盛	終	
安芸クイーン	5/7	6/24	6/27	6/29	9/29
紅伊豆	5/5	6/23	6/26	6/28	9/30

表3 「安芸クイーン」の品種特性

品種	果肉硬度	裂果性	脱粒性	果皮色	果肉特性
安芸クイーン	硬	無	難	赤	中間
巨峰	硬	無	難	紫黒	中間
紅伊豆	軟	中	容易	紅	塊状

果皮色は鮮紅色で、外観が非常に良好である。果実の日持ち性は、「紅伊豆」より良く、脱粒性が少ないため、輸送性に優れる。

花振るい性が「紅伊豆」に比べ多いので、雨よけ栽培を前提とする。

凍寒害防止のため、稲わらを巻くなどの防寒対策を実施する。

過着果は、品質の低下はもちろん、耐寒性が劣り凍寒害による樹体の損傷を招くおそれがあるなど影響が大きいので、生産目標は、10a当たり1.0～1.2tを目処とする。



写真1 「安芸クイーン」の結実状況